原っ子

学校だより №15（通算58号）
令和５年７月５日
小郡市立大原小学校
校長　山本貴澄　Tel 72-5500

今年度の重点目標「学び合い　助け合い　やり遂げる集団づくり」
合言葉「チャレンジ！　みんなでまなぶ　やりとげる」

【沖縄・平和の礎】

平和学習の取組について

大原小学校では、平和学習を人権・同和教育の年間指導計画に位置付けています。子どもたちの発達段階に応じて指導し、「互いを尊重し合い、平和の大切さを考え、進んで平和な世界の実現に向けて行動する子どもを育てる」ことを目標としています。「平和を考える日の取組」として、沖縄慰霊の日と８月６日・９日の原爆の日、その他全校平和集会を行っています。５年生の総合的な学習では「大刀洗空襲」についても調べています。

修学旅行に向けての事前平和学習

６年生は長崎に修学旅行に行き、原爆について学びました。子どもたちは、その事前学習で原爆について調べていましたので、私からも広島の原爆や世界の核保有国、その核弾頭数の現状などについて話をさせてもらいました。ちょうど同じ時期に広島でＧ７サミット（主要７か国首脳会議）が開かれましたので、そのニュースにもふれました。核兵器をなくしていくために各国の首脳にお願いしたいことについて書いてもらいました。子どもの感想と併せて紹介します。

【６年生の感想】

今日の広島の原爆について、放射線はこわいと思った。校長先生のおじさんも無傷で帰ってきたのに、放射線のせいで、原爆が落ちて約一ヶ月で亡くなってしまったから。放射線がなければもっと死ぬ人が少なくなったかもしれないと思うと、当時の人たちの気持ちが少し分かった気がした。戦争をすることで、いろんな人を失ってしまっておそろしいと思った。修学旅行に行き、しっかりといろんなことを学びたい。そして全校のみんなに伝えていきたい。今日、新しく知ったことは、核兵器が世界に約１万２０００発もあるということ。もっと平和について考える人が増えたなら、核兵器は減ると思うし、なくせると思う。だから、学んで、そこからさらに考えていろんな人に伝えたい。戦争は自分にはあまり関係がないと思っていた。でも他人事ではないことを今日実感できたから修学旅行につなげていきたい。

【Ｇ７の首脳に向けて】

岸田総理へ　この世界から核兵器をなくしてください。この世界から核兵器をなくすのはむずかしいと思います。でも、核兵器をなくすことで、人の命をうばわず平和な世界へ進む一歩になるのではないでしょうか。この国だけじゃなく、いろいろな国々の大統領と話し合い、少しでも核兵器の数を減らし、みんなが世界中の人々が平和で幸せにくらせる世界にし、二度と長崎や広島の原爆をくり返さないで悲しい思いをする人もいないような世界にしていきたいです。

フランスのマクロン大統領、アメリカのバイデン大統領、イギリスのスナク首相は、核兵器をもっています。今回、広島でＧ７サミットが行われたのは、世界の平和を願ったからだと思います。被爆者の方の年齢も年々上がっています。日本を最後の被爆国にして、早く核兵器を手放してください。

自分の国がねらわれるかもしれないという不安も分かります。ですが、核兵器をもっていなくても、戦争が起こっていない国もたくさんあります。核兵器がなければきっと戦争も減ります。核兵器を手放して一緒に戦争を減らしませんか。

６月２３日「沖縄慰霊の日」

今から７８年前、日本はアメリカやイギリスと戦争をしていました。太平洋の島々を奪ったアメリカ軍は、次に沖縄を占領して、日本本土を攻めるための前進基地として使おうと考えました。これに対し日本は、日本本土を守るため、沖縄になるべく米軍をひきとめて時間をかせぐ「持久戦」の作戦をたてました。こうして起きたのが「沖縄戦」です。

アメリカ軍は、昭和２０年（１９４５年）の３月の終わりに沖縄に上陸してきました。戦いは約３ヶ月間続き、多くの民間人も犠牲となりました。日本軍は壊滅的な状態となり、６月２３日に組織的な戦いが終わったとされています。沖縄戦で亡くなった人は、約２０万人、その中に民間人も約９万４千人含まれています。実に沖縄住民の４分の１です。

この「沖縄慰霊の日」に平和学習を行い、沖縄戦で犠牲となった人たちの冥福を祈り、二度と戦争を起こさず、みんなが幸せにくらせるためにはどうすればいいか、みんなで考えました。各学年で指導内容を工夫し、ビデオや絵本などの教材を使って授業を行いました。５年生は、「りゅう子の白い旗」という絵本を使って学習しました。この日は給食も沖縄料理のメニューでした。命どぅ宝（ぬちどぅたから）＝「命こそ宝」です。忘れない日にしてほしいです。

【５年生の感想】

沖縄では「命は宝」と言われていたほど命は大事だったのに、自分で自決する人が多かったということがとてもざんねんな気持ちになりました。今の沖縄は、平和なのに昔はとてもひどい戦争が行われていて、今の時代に生まれていてよかったなと思いました。これからわたしは、自分の命を大切にして友達の命も大切にしていこうと思いました。

わたしは、この「りゅう子の白い旗」を読んで、自分はとても幸せなんだなと改めて思いました。この戦争で約２０万人もの人が亡くなってしまったということにおどろきました。人生の一秒一秒を大切にして、亡くなった方の分だけ長生きしたいです。

だれもが笑顔でいられる社会にむけて
７月は「同和問題啓発強調月間」です

福岡県では、毎年７月を「同和問題啓発強調月間」と定め、各地で部落差別をはじめとするあらゆる差別を解消するための取組をしています。人が人として尊重されなければならないのは当然のことですが、いろいろな場で人としての権利が守られていない課題が残されています。私たち学校職員も、一人ひとりの子どもの思いや願いを大切にしながら、人権感覚豊かな人間として生きていける力を育てていきたいと考えています。そのために学校をあげての実践（人権・同和教育）に日々取り組んでいます。

小郡市でもこの期間にあわせて、毎年同和問題市民講演会を開催しています。広報「おごおり」等でも案内されています。ご都合がつかれましたら、ぜひご参加ください。

日時：７月８日（土）１３時３０分開場　１４時開演
会場：小郡市文化会館　大ホール
対談：西田昌矢さん&組坂繁之さん「差別をなくし人権を確立するために」
「部落差別？もう無くなったのではないか」という声も聞かれます。しかし、インターネット上では今なお差別を助長するデマや誹謗中傷が後を絶ちません。本対談では、当事者の「思い」にふれることで「人権とは」「差別とは」について深く掘り下げます。※講演会のチラシより

【同和問題とは】

被差別部落に生まれた、もしくはその出身者という理由だけで、結婚や就職差別において不当な扱いを受け、基本的人権が侵害されてきた、今もなお日本が抱える深刻な人権問題です。近年では、インターネット上に部落差別を助長する悪質な動画が公開されたり、誹謗中傷が書き込まれたりするなど、インターネットの匿名性と拡散性を悪用した差別事象が相次いでいます。

＜７・８月の主な行事＞　※変更となる場合があります。

６日（木）	水泳教室（３・４年）	19日（水）	なかよし集会　大掃除
７日（金）	プール掃除（４の２）	20日（木）	夏季休業前５時間授業
10日（月）	七夕おはなし会（読み聞かせ）	21日（金）	夏季休業～ 8/28（月）
11日（火）	水泳教室（３・４年）	＜８月＞	
13日（木）	平和集会　特別支援学級保護者面談（14・18 日）	４日（金）	出校日（平和学習）
		29日（火）	夏季休業明け４時間授業
14日（金）	着衣水泳講習会（６年）		なかよし班登校（～１日）
	給食センター建て替え説明会		給食開始
	学級分会	30日（水）	委員会活動
18日（火）	ポップ講座（５年）	31日（木）	５時間授業　Ｐ人権学習事前研